



平成31年度千葉県広域スポーツセンター事業計画

千葉県教育委員会では、平成29年度からの5年間を見据えた、第12次「千葉県体育・スポーツ推進計画」を平成29年4月に策定しました。『スポーツ立県ちば』を一層推進していくため、総合型地域スポーツクラブへの期待と、クラブが目指す姿を示しました。広域スポーツセンター（広域SC）では、市町村やクラブと連携し、以下の事業に取り組みます。

平成30年度
○成果 ●課題

○設立準備市町村、クラブへの支援活動
○未設置市町村の設立に向けての効果的な支援活動
●市町村・スポーツ推進委員・体育協会との連携

○ニーズに合った自立活性化支援活動
●自立活性化支援活動の周知
●各クラブの実態把握と市町村への情報提供

○情報交換会(クラブサミット)での新しい取組
●スポネット参加者、参加市町村の減少
●県の育成活動に興味を持たないクラブへの働きかけ

○スポーツ情報センターHPとの情報共有・連携
●一般県民への働きかけや市町村との連携について

○スポーツ推進委員連合会、県体育協会との連携
●総合型クラブの支援体制の再構築等
●地域におけるスポーツ推進体制の見直し
●働き世代への情報発信

(事業方針) 総合型地域スポーツクラブへの活性化支援 ○地域ネットワークの連携強化

1 未設置市町村への設立支援 (量的拡大)

啓発活動
会議や研修等での事業説明や情報提供
・市町村生涯スポーツ担当者等
生涯スポーツ主管課会議での啓発

重点支援活動・設立支援活動
・設立が見込める市町村を重点的に支援 (ニーズに合った設立支援ミニ集会の開催)
・各講習会への受講奨励
・近隣クラブとの連携

2 総合型地域スポーツクラブへの活性化支援 (質的向上)

訪問活動・自立活性化支援活動
市町村との連携したクラブ支援 (ニーズに合った自立活性化支援ミニ集会・親子体験の開催)
・クラブ訪問(クラブ調査より)
・超高齢社会に備えた体育・スポーツの推進
・障がい者スポーツの支援、普及

クラブ・指導者育成
クラブマネージャー養成講習会
・アシスタントマネージャー資格取得奨励
・市町村担当者、スポーツ推進委員、市町村体育協会員の受講奨励

3 総合型地域スポーツクラブ間のネットワーク強化 (交流) 【千葉県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会への支援】

交流大会の開催
第8回スポネットちば2019開催
・交流の促進
・ともに作りあげる大会へ

情報共有
情報交換会(クラブサミット)の充実
・連協事務局をサポート(企画・運営)
・クラブ間の連携強化

事業支援
連絡協議会の機能強化へ
・連協事務局体制の確立
・連協参加クラブの増加

4 県民・スポーツ関係者への広報・啓発活動

ホームページによる最新情報の提供
・広域SCホームページや県教委ニュースによる情報発信
・千葉県スポーツ情報センターホームページとの連携の推進

広報用クリアファイル等の配布
・より効果的な配布

「スポーツ立県ちば推進月間」の活用
・スポネットちば
・親子体験イベント
・トッププロとの連携
・ちばスポーツ夢フェスタ
・市町村への広報

各種広報媒体を通じた広報活動
・SNS
・ニューズレター
・県民だより

5 「スポーツ実施率向上のための行動計画」の情報収集・提供

スポーツ実施率向上のための行動計画
・総合型地域スポーツクラブの更なる活性化を図る
・連携交流事業
スポーツ庁「総合型クラブの今後の在り方に関する提言」に基づく取組
・「社会的な仕組み」として定着をめざす
・登録、認証等の制度の整備
・中間支援組織の在り方

広域SCの目指す姿勢

「理念の共有」を通じた啓発・設立支援
動きのある市町村への個別の支援を行う。
設立意志のない市町村に対しては、市町村行政やスポーツ推進委員、体育協会、近隣クラブと連携し、理念についての理解してもらう。

総合型クラブの育成・発展に向けての支援
地域と連携した運営が展開されるよう、情報交換を行う。千葉県クラブマネージャー養成講習会の参加者を増やし、スポーツに関わる人やコミュニティづくりに関わる人がクラブに関わるきっかけづくりを行う。

千葉県総合型クラブ連絡協議会の機能強化に向けての組織化
連絡協議会と共にクラブの支援やネットワークの強化を図り、クラブが自立ができるよう支援していく。自主的なクラブ間の交流会や連絡会が広がるように支援する。

情報発信基地としての役割
様々な広報媒体を活用した情報発信、共有システムづくりの推進と総合型クラブ認知に向けた県民への啓発活動を継続する。(SNSの活用)

「スポーツ実施率」や「総合型クラブの今後の在り方に関する提言」に基づき、千葉県としてどのように進めるかを、関係機関と検討する。